

東北地方太平洋沖地震発生に伴う医療関係支援について

1 災害発生時における本県の対応

(1) DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣

厚生労働省からの派遣要請を受け、EMIS（広域災害救急医療情報システム）を利用して県内の全 DMAT 指定医療機関への派遣要請を行い、15 病院 20 チーム（14 日午前 7 時 30 分現在）が被災地に向かった。

派遣された DMAT 隊は病院支援、SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）運営、現場医療救護活動等に従事していたが、業務を完了し 16 日に撤収した。

（根拠）

厚生労働省から県への派遣要請・・・「日本 DMAT 活動要領」

愛知県からの派遣要請・・・「愛知 DMAT 設置運営要領」及び
「愛知 DMAT に関する協定」

(2) ドクターヘリの派遣

3月12日（土）に厚生労働省の要請を受け愛知医科大学を出発し、いわて花巻空港に到着。患者搬送を実施し、14日午後帰還した。

（根拠）

「日本 DMAT 活動要領」

(3) 保健師の派遣

被災者の健康相談・健康チェックや避難所の衛生対策等の活動を行うため、岩手県内の被災地（釜石市）へ15日午前9時に第1班が出発した。

派遣保健師は、釜石保健所管内（大槌町）で活動している。

・チーム編成 1チーム4名体制（県3名と中核市各1名）

・活動期間 1チームあたり5泊6日

当面3月15日から4月末の予定

2 今後必要と考えられる支援等

(1) 透析患者への対応

愛知県透析医会の協力により、人工透析が困難な被災者の受け入れが可能な医療機関の名簿（80医療機関）を公表するとともに、被災地の医療機関から日本透析医会を通じて本県に支援を要請された方に対しては、県営住宅50戸を優先的に提供することを決定（3月17日）。

(2) 放射線被曝者への対応

被曝のおそれがある住民からの照会があり、検査・治療が可能な医療機関の紹介等を行うことが考えられる。

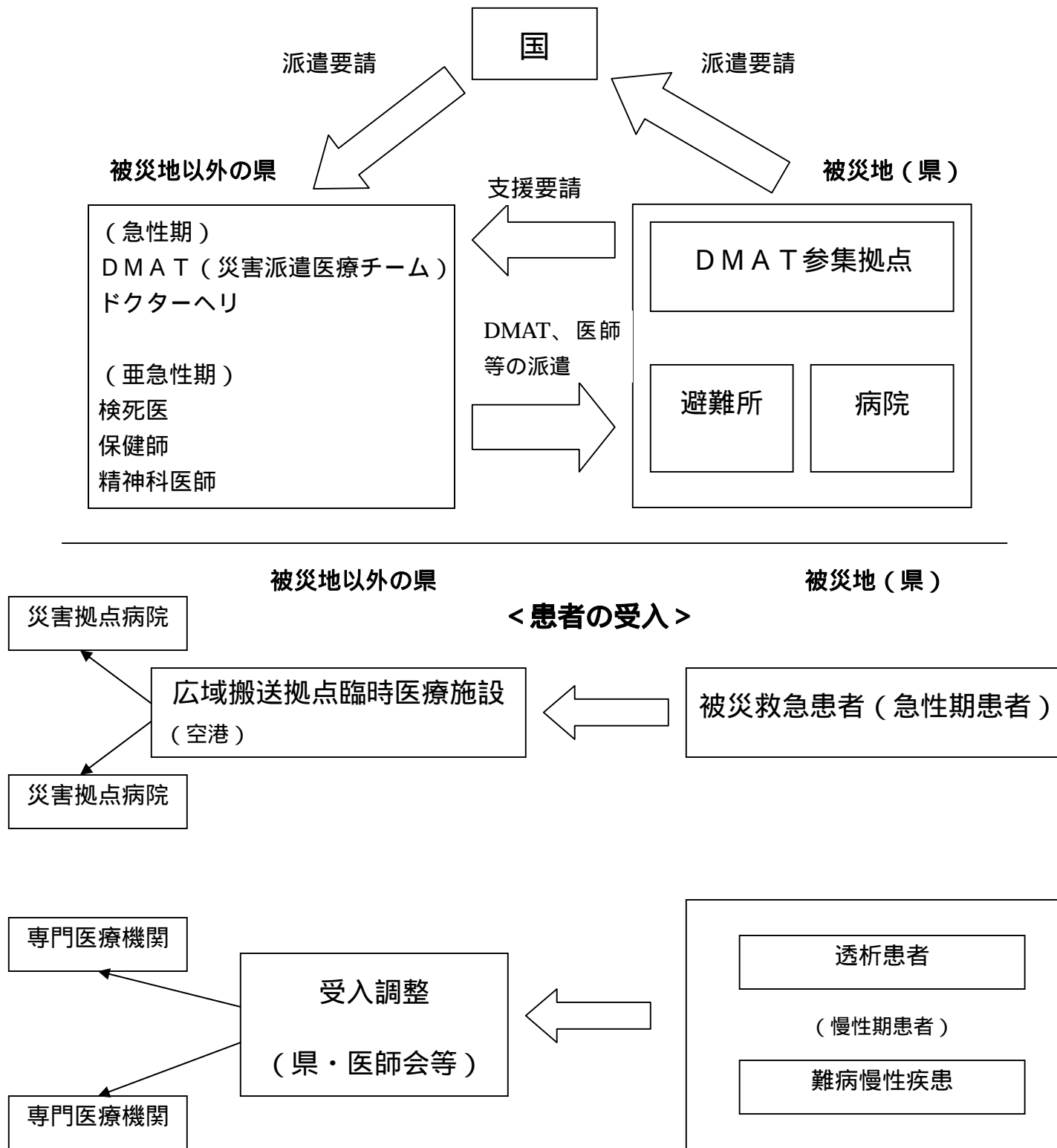
(3) 精神科医等の派遣（心のケア）

被災者の精神的なケアを行うため、宮城県内の被災地へ19日に出発予定。

(4) 死体検案

被災地で死体検案を行う医師の不足が予想されるとの情報があり、本県においても医師の派遣を検討する必要がある。

被災地への医療関係支援について



DMAT等の活動状況

(3月11日)
 15時11分 待機要請により待機
 16時45分 厚生労働省により派遣要請
 (17日7時30分現在の出勤状況)
 1チーム各5名程度

病院名	チーム数	活動場所等	状況
名古屋第二赤十字病院	2チーム	岩手県 いわて花巻空港	撤収
名古屋第一赤十字病院	1チーム	宮城県 石巻運動公園	撤収
愛知医科大学病院	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
	1チーム	岩手県 いわて花巻空港	撤収
藤田保健衛生大学病院	1チーム	茨城県 筑波メディカルセンター病院	撤収
名古屋医療センター	1チーム	茨城県 筑波メディカルセンター病院	撤収
	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
名古屋掖済会病院	1チーム	東京都 羽田空港	撤収
	1チーム	東京都 羽田空港	撤収
安城更生病院	2チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
総合大雄会病院	1チーム	宮城県 石巻市立病院	撤収
岡崎市民病院	1チーム	福島県 福島空港	撤収
社会保険中京病院	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
トヨタ記念病院	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
小牧市民病院	1チーム	宮城県 石巻日赤病院	撤収
豊田厚生病院	1チーム	宮城県 石巻市立病院	撤収
一宮市民病院	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
豊橋市民病院	1チーム	宮城県 仙台医療センター	撤収
	20チーム		

・ドクターヘリの派遣について
 3月12日 9:53 愛知医科大学出発
 14:30 いわて花巻空港到着
 3月14日 午後 愛知医科大学に帰還

派遣人員 医師1名 看護師 1名 (他操縦士、整備士、運航連絡調整員)

・日赤医療救護班
 名古屋第一赤十字病院 1チーム 石巻日赤病院にて活動中
 名古屋第二赤十字病院 1チーム 石巻日赤病院にて活動中